

## 魅力ある授業のために（単元化例） 古典探究 読むこと

### 1 単元の目標

- (1) 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕 (2)ア
- (2) 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができる。〔思考力、判断力、表現力〕 A(1)エ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

### 2 指導と評価の計画

科目名	古典探究	学年類型	2年	単位数	4単位	話すこと 聞くこと	
単元名	古典に登場する人物の生き方や考え方について理解しよう （『平治物語』）					書くこと	
						読むこと	○
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化について理解を深めている。		「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。		古典の作品について、その内容の解釈を踏まえて朗読する活動に向けて、作品の成立した背景を踏まえて、本文の解釈に粘り強く取り組み、既習の知識を生かしてより深く内容を表現しようとしている。			
主たる言語活動							
古典の作品について、その内容の解釈を踏まえて朗読する活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動	重点項目			評価方法		
		知	思	態			
1	<p>本文の内容を把握し、義朝謀殺について考察する。</p> <p>①単元の目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>②源義朝が尾張国に逃れてきた経緯を知る。</p> <p>③臨場感を損なわないよう留意しつつペアで音読し、軍記物語特有の表現を確認する。</p> <p>④4人グループになり、本文を四分割してそれぞれが一カ所ずつ担当して現代語訳をする。その後、現代語訳を合わせ、全体の内容を把握する。グループで把握できなかったところはクラス全体で共有し、解決する。</p> <p>⑤源義朝が謀殺される場面であることに気付き、感想を書く。</p>	◎	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察（音読）</li> <li>・記述の分析（ワークシートⅠ）</li> </ul>		
2	<p>義朝を謀殺した長田父子について人々の評価を捉え、当時の文化について考えを深める。</p> <p>⑥4人グループで、長田父子が策謀している場面を読み、「東国へくたすべ」きか「是にてうつべ」きかという二つの策について、策の根拠とともに、それぞれの評価を読み取る。。</p> <p>⑦文中の根拠を基に、人々の長田忠致に対する評価をグループで読み取り、それらの内容を生かした朗読ができるよう工夫する。発表に向けて、役割分担を行い、練習する。</p>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>記述の確認（ワークシートⅡ）</li> </ul>		

3	義朝をグループで内容を踏まえた音読をして発表する。				・行動の分析 (発表・振り返り)
	⑧グループごとに朗読の発表を行う。 ⑨どのグループがよかったか、理由とともに評価表を完成させる。 ⑩振り返りと感想を記述する。		◎	◎	

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不満足な場合は何らかの指導を行う。

### 3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
作品の成立した背景などの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。	作品の成立した背景や当時の文化などの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、他の作品と比較して『平治物語』のもつ価値について考察し、朗読することで表現している。	作品の成立した背景などの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、『平治物語』のもつ価値について考察し、朗読することで表現している。	本文の解釈を踏まえて、朗読している。